

1 労働災害の推移

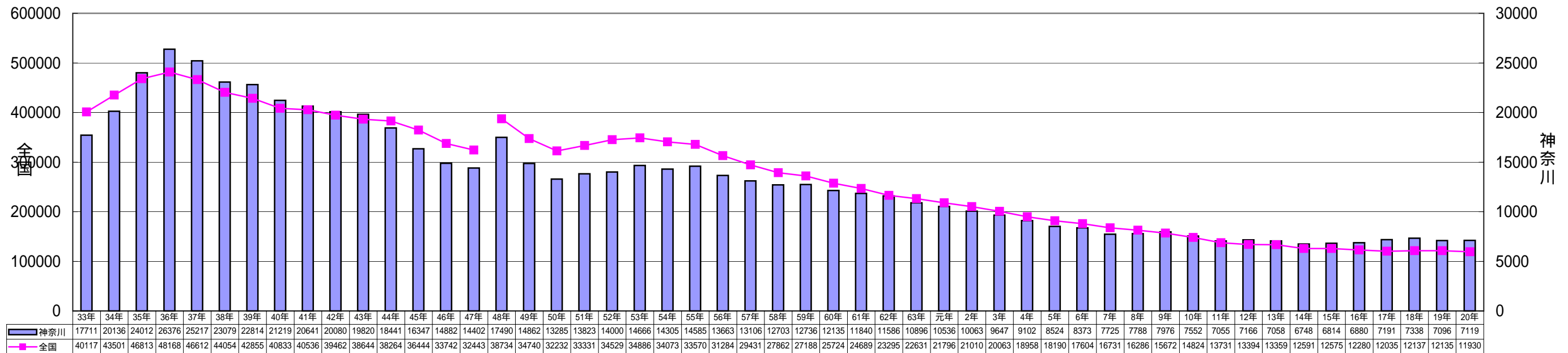
神奈川県における労働災害による死傷者数は、昭和36年の26,376人をピークとし、増減を繰り返しながら、長期的には減少傾向の状況にある。平成14年から平成18年までは増加傾向にあったが、平成19年には7,096人とやや減少した。しかし、平成20年は7,119人となり、ほぼ横ばい傾向を示している。

今後はこの傾向を減少傾向に転ずるため、対策の強化が必要となる。

神奈川県における労働災害による死亡者数は、昭和36年の336人をピークとし、その後、死傷者数同様、減少傾向にある。

平成20年の死亡者数は、44人であり、過去最少値を更新した。

図1 1 労働災害による死傷者数の年次別推移



(全国データは労災給付データ及び労働者死傷病報告(労災非適)から作成。平成20年の値は推定値。神奈川データは平成10年までは労災給付データ、平成11年以降は労働者死傷病報告から作成)

図1 2 労働災害による死亡者数の年次別推移

